

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 Tel.049(227)5588
 星野学園小学校
 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

星野 二学期三大イベント

白熱！全力！〜体育祭〜

九月十五日(金)

第八回星野学園小学校体育祭が行われ、競技優勝、応援優勝ともに白組という結果になった。



力を合わせて、ピラミッドの完成！

今年は大勢の保護者の皆様に来場していただいた。開会式での応援団長の元氣いっぱいの選手宣誓とともに体育祭は始まった。午前は、各学年の徒競走に始まり、一年生のせんべい食い競争、二、三年生の台風の目リレー、四年生の玉入れ、五、六年生の棒引きなど目の離せない勝負が続いた。

午前の部が終わると、星野学園吹奏楽マーチングバンドによる演技が披露された。星野学園マーチングバンドは全国高等学校総合文化祭や日本マーチングバンド・バ



低学年の元気いっばいなダンス！

特色である。午後の部の目玉は各学年によるダンス、組体操である。低学年は色とりどりのポンポンを持ってかわいらしく、中学年はリズム力よく踊った。高学年は仲間同士協力し合い、息の合った演技を披露した。技が決まるたびに応援席からは称賛の拍手が沸き起こった。優勝の白組は勿論、準優勝の赤組も皆が一致団結して全力を出した様子であった。次回の体育祭も白熱した戦いを期待したい。

(加藤)

お箏の演奏

九月九日(土)、十日(日)の二日間に渡り、星華祭が開催された。今回の小学校の来場者数は一八六九人で、多くの方々に星野学園小学校の取り組みを、星野学園小学校で、学年毎にそれぞれ



お箏の演奏は一度ご覧あれ！

は、一〜三年生までのお箏の発表がある。千人以上を収容可能な、星野学園が誇るハーモニールを使用し、二日間、お箏の発表を学年単位で行う。それぞれ授業内で練習を重ね、課題曲を弾くが、やはり一年生よりも二年生、二年生よりも三年生の曲の方が、より曲の難度も上がっていく。一年生は、「チ

ユーリップ」を演奏した。箏曲部の伴奏に合わせ、リズム良く、可愛らしい演奏を披露した。二年生は、色々な虫の声をすくい爪やピチカート等の指使いで表現した。三年生は、初めての二部合奏に挑戦した。一番と二番でもロディーと伴奏のパートが入れ替わるので、初めは苦労したが、本番では、美しいハーモニールを奏でることができた。

ぜひ、来年度の星華祭では、ハーモニールに足をお運び頂き、一〜三年生のお箏の演奏を見ていただければと思う。(佐藤)

最優秀賞の裏側

十一月十一日

(土)、第八回星野学園小学校合唱祭が開催された。今回は最優秀賞に輝いた六年B組の指揮者の児童にインタビューし、合唱祭を振り返って

聞きました。具体的な顔をしてみただけです。そうしたら、みんながにっこり笑ってくれたので、「よし！いける！」と思いました。

Q 今回の合唱祭を振り返ってどうでしたか。
 A こんなに何かに本気になったのは初めての経験でした。最優秀賞を取れた時に、担任の先生が泣いて喜んでくれたのは忘れられない思い出です。

Q 合唱祭に向けてどのように練習しましたか。
 A 最初は全然指揮を振ることができず、音楽の先生の指揮を見まねでやりました。担任の先生が、お手本のCDや、実際にクラスからの激励のメッセージのみんなが歌ったCDをくださったの、家に帰って宿題を済ませた後に、CDを聞きながら指揮の振り方を猛特訓していました。

Q 本番当日、クラスのとみんなの緊張した顔が並んでいました。だからみんなを笑わせよう、実はこっそり変な顔をしてみただけです。そうしたら、みんながにっこり笑ってくれたので、「よし！いける！」と思いました。

6年B組の素晴らしい合唱。



冬の学校

二月一日(木)、天候にも恵まれた中、四(六)年生は、新潟県にある苗場スキー場へ、二泊三日の冬の学校に出発した。二日目に言うナイタースキーには、全員が参加した。二月二日(金)からは、一(三)年生が、冬の学校に出発した。

初めての冬の学校となる一年生の中には、スキーをするのも初めてという子もいた。今年は、インフルエンザが流行し、一年生は、冬の学校直前に学級閉鎖をした。久しぶりに登校すると、授業や休み時間、給食等、全てが楽しいと嬉しそくに話をしてくれた。毎日、元気に学校に来られること。先生やお友達と楽しく勉強ができること。こうした日々の生活が、実は当たり前前ではないことに改めて気が付くことができた。

冬の学校で子どもたちは、一年間の学びを活かし、スキー実習や友達との共同生活に取り組み。そこでの



初めての冬の学校を笑顔で

経験が、子どもたちをさらに成長させてくれる。

学年によって、できることは異なるが、子どもたち一人ひとりが、自分のできることを一生懸命取り組み姿勢を大切にし、学年、そして個々に応じた自立を目指す。たとえば、一年生であつても荷物の整理整頓は自分で行う。また、お友達同士声を掛け合いい、しおりに見ながら、時間を意識して、行動することを心掛けた。このように、一年間の学びの集大成となる冬の学校が、子どもたちにとって大きな経験となり成長につながった。来年も一人ひとりがさらなる自立を目指し取り組むことを期待している。(水村)

新年気持ち新たに

一月十一日(木)、全校で「書き初め会」が行われた。この日に書き上げた書き初めは校内に学年毎、展示される。

初めての書き初めとなる一年生は鉛筆の動かし方や字の濃淡など字を書くための基本となる運筆を中心に練習した。六月に硬筆展に向けて練習した時よりも大きく堂々とした字を書けるようになった。

二年生はフェルトペンを使用して作品を仕上げていく。ペンの運び方や、とめ、はね、はらいの力の入れ方が鉛筆の時とは異なるため、より集中して取り組む必要がある。しかし、二学期から書き初め会に向けて練習を重ねていたこともあり、今日が一番上手に書けたという児童も多かった。

三年生以上は毛筆での書き初めになる。通常の書道の授業の半紙と比べ、書き初めの

用紙は大きいので、配置に気をつけながら、字を大きく書くことが大切になる。そのため、子どもたちは筆に墨汁をたっぷりつけ、一画一画を丁寧に書いていた。

書き初めは日本の年中行事の一つである。そのルーツをたどると元々は宮中で行われていた行事であり、書き初めは庶民には遠い存在であった。しかし江戸時代に入つて庶民にも広く親しまれるようになったことをきっかけに、現代の私たちにも脈々と受け継がれている。星野学園小学校では今後も日本人としての教養を高めていくために、こうした日本の歴史や文化を大切にしていきたい。(篠原)

三学期最初の行事であるお正月会が、一月十日(水)に行われた。

星野学園小学校では英語教育に力を入れるとともに自国の文化を学ぶことも大切に行っている。特にお正月は日本伝統の文化や風習が多く感じられる時期である。そのため、毎年全学年でかるたと書き初めを行い、伝統行事に親しむことを目的としている。

かるた会では、一年生は、普段の生活を題材にした「生活かるた」、二年生は、「いろはかるた」に挑戦する。一、二年生とも、小学校棟の隣にある生徒会館の和室が会場となる。

三年生以上は、中、高学年にそれぞれ分かれ、百人一首を行った。

お正月会が初めてとなる一年生は、畳の上でのいつもの違う雰囲気、始めは少し緊張している様子だった。しかし、

かるた会

会が始まり、読み札が読まれると、体乗り出して札を取りに行く程、夢中になって楽しむ姿が見られた。

二年生が挑戦する「いろはかるた」は、「犬も歩けば棒にあたる」から始まる「江戸いろはかるた」と呼ばれるものだ。二年生は全員冬休みにことわざプリントを使って、できるだけことわざを暗記してからかるた会の本番に臨んだ。中には四十八個のことわざをすべて覚えたという児童もいたというから驚きだ。

三年生以上は低学年の和やかな雰囲気とは違い、会場には緊張感が漂う。チーム対抗の試合になるため、チームごとに作戦を立て試合に臨むクラスもある。この日のために二学期や冬休み中から準備をしてきている児童もいる。六年生の中には、百人一首を全て覚え、上の句が読まれるとすぐに札を取る児童もいた。話を聞くと初めて上級生と対戦した時、全く歯が立たなかつたことが悔しくて、百人一首を覚えるようになったという。異学年交流が良い刺激となつていることを改めて感じた。一人ひとりが、かるた、百人一首を楽しみながら取り組んだお正月会になった。(水村)

寒さが増し始める十一月中旬、「星野バスケット」が開催され、六年B組が優勝を収めた。

今までは「星野カップ」という、サッカーの大会が開かれていたが、今年度、体育委員会のなかで、「毎学期大きなスポーツ大会を開こう」という発案がされ、新たに「星野バスケット」が追加された。この大会は、三年生以上の学年が、クラスごとに出場する。まずは、リーグ戦を勝ち



子ども達の元気な声が響いた。

星野バスケット

抜き、決勝トーナメントに進める。工夫されているところは、学年差によって、体育委員会の子ども達が考えたハンディキャップが用意されているところだ。たとえば、三年生と六年生の試合になると、三年生のシュートは、ゴールのリングに当たただけでも得点になるというルールもある。しかし、やはり決勝戦は六年生同士の対決となった。このように、スポーツを通しての児童の交流は、クラスの団結力が高まり、目標に向かって努力をしようとする姿勢が身に付けることを目的としている。三学期には、「星野カップ」が待っている。各クラス一丸となつて、頑張ってもらいたい。(佐藤)



熱戦が繰り上げられた!